

上杉家モ勸修寺ノ流ニテ家ノ紋竹ニ雀ナリ、伊達モ山陰中納言流ニテ家ノ紋竹ニ雀ナリ、

〔寛永諸家系圖傳 百二十三〕堀越

家紋、丸の内波千鳥

〔寛永系圖 五〕平姓 伊勢 家紋、始折入菱、後向合蝶

貞盛 ○ 中略

唐皮鎧以相向蝶爲紋、自是改折入菱紋、用相向蝶紋

〔諸家系圖纂 二十〕清原家譜

武俊 家、右馬九、自平、賜蝶御紋

〔諸家系圖纂 三十六〕桓武平氏 織田津田系圖

織田氏之紋 上羽蝶 平氏累代之紋

〔寛永系圖 七〕平氏 關 家紋、揚羽蝶

〔寛永諸家系圖傳 十八〕大島

某

童名西扇丸 生國伊豆

家傳にいはいはく、西扇丸、幼稚にして倭歌をこのむのよし、叡聞に達し、あるとき召れて參内す、時に三の胡蝶飛來て、禁庭の梅花にとまるといふ、是は何ぞやと勅問ありければ、西扇丸、蝶なりと勅答申す、勅使のいはく、三あるものは其數半なるを、いかむとしてか、重とは申ぞと難じければ、

一つある鳥も千鳥といふなれば、三つあるとてふといはましと詠じければ、はなはだ

叡感あつて、梅樹と三蝶を以て家紋とすべきの勅詔により、日の丸をあらためて、梅と蝶とを

以て紋とす、○ 中略